

今年も60キロ歩き、下関で素晴らしいゴールをすることができました。
校長 重松 宏明

今年も、10月20日～22日、6年生が企画する「遺跡・史跡巡りの旅」（「協働・発展の旅」）を無事に終えることができました。当初この旅は、9月29日～10月1日実施を予定していましたが、緊急事態宣言中でしたので、3週間延期しての実施となりました。

1日目朝7時30分の出発式では、西村町長から激励を頂き、また本校卒業の久山中、森山珠光さん達から、1年目から引き継がれている旅の旗の授与がありました。その後、海の中道を歩いて志賀島の金印公園、志賀海神社で志賀島の歴史や中国との関係について学びました。途中JRも利用しましたが、27キロの長い道のりを歩ききりました。

2日目は、まず立花小学校と歴史の学びの交流をしました。久原小学校は、スライドや劇で首羅山遺跡の紹介を行い、立花小も立花宗茂を中心とした立花山に関する歴史の内容をスライド等を使ってとてもわかりやすく説明してくれました。同学年の他校の児童と、こういった交流を行い刺激を得るのはとても素晴らしいことだと改めて感じました。その後、立花山の頂上まで、なかなかきつい山登りでしたが、声をかけ、励まし合いながら頑張りました。頂上から眺める福岡市の景色は素晴らしく感動でした。1日目に歩いた志賀島もはっきりと見ることができました。この日は視界がよく、案内をしてくださった学芸員の方もびっくりされていました。宗像市の世界遺産「沖ノ島」や糸島半島も肉眼でみることができました。この日も20キロを歩いたようです。

3日目は、門司港までバスで行き、下関にあるゴール「火の山」山頂を目指しました。関門海峡、関門大橋の雄大な景色を眺めながら門司の港を歩きました。そして、関門トンネル人道を通って海の下を歩き山口県に入りゴールへ向かいました。途中雨が降る時間帯もありましたが、カップを着ながらたくさんのお母さんお父さんが待つゴールで喜びのゴールテープをきることができました。ゴール到着式では丸野君が約3分間の素晴らしいスピーチをしてくれました。スピーチの中からはいくつかの言葉を紹介します。「今年の自分達の旅の成功を、来年に繋げて欲しい。」「旅の成功は、ぼくたちだけでなく先生方、お父さんお母さんなど、旅に関係した全員が団結できたから・・・」「僕たちの本当のゴールはここではない。本当のゴールは卒業の時。卒業の時、今の姿をさらに超えたい。」今回も3日間で、約60キロを超える道のりを歩きました。苦しかったこと、うまくいかなかったこともたくさんあったと思いますが、全員で協力して目標をやりきったこの自信を大切に、またさらにこれから頑張りたいと思います。



11月の行事予定

- 1日（月） 全校朝の会 委員会活動
- 2日（火） 鍛錬遠足（1～4年）※全学年弁当【下校1～4年 14:15、5・6年 14:50】
- 3日（水） 文化の日
- 5日（金） クラブ活動 読書集会
- 8日（月） ふれあい幼稚園・保育園（1年） おじいちゃん・おばあちゃんとふれあい隊（3年）
- 9日（火） 中学校丸ごと体験（6年） 宿泊訓練：少年自然の家「玄海の家」（5年）～11日
- 10日（水） らばーく（2・4・6年）
- 13日（土） 久原っ子まつり（お弁当がいります）
- 15日（月） 振替休日
- 17日（水） ○の会 避難訓練 就学時検診
- 18日（木） チャレンジ学習（1年）
- 19日（金） 道徳推進の日（あいさつ運動・給食） 観劇会（6年）
消防署見学（3年） クラブ活動（3年生見学）
- 22日（月） 脱穀（5年）
- 23日（火） 勤労感謝の日
- 24日（水） 特別時制（地区間交流）【下校全学年 14:20】
- 25日（木） ブラッシング指導（1・3・5年） チャレンジ学習（2年） 持久走練習（～12/10）
- 29日（月） 漢字がんばり週間（～12/9） 委員会活動

「音楽鑑賞会～和楽団ジャパンマーベラス～」

10月8日、ドドーン、ドン！と体育館に鳴り響く大きな和太鼓の音。本年度は、和楽器の演奏会を行いました。子どもたちに馴染みの曲も和太鼓で演奏していただき、楽しく音楽の秋を楽しみました。



【和太鼓の演奏に聞き入る子どもたち】

～久山町で福岡県重点課題発表会実施～

久山町では、令和元年度から3年間福岡県重点課題研究の指定を受け、保幼小中連携の教育研究を進めてきました。

10月29日、約200名の先生方が県内各地からけやきの森幼稚園、ひさやま保育園杜の郷、久原小学校、山田小学校、久山中学校に集まりました。本校も各学年1学級ずつ6学級の公開授業が行われ、研究を中心とした学びの姿を公開しました。先生も子ども達も頑張っていました。



図書寄贈のお知らせ

本校に（公財）福岡市水道サービス公社様より久山町へ図書の寄贈がありました。水資源に恵まれない福岡市は、水道創設当初から市域外に水資源を求めてきました。現在も、水源地域の理解と協力により安定給水の確保が実現しています。その感謝の気持ちから、学校教育に役立ててもらうためにと寄贈していただいているものです。

【右は寄贈された図書】

